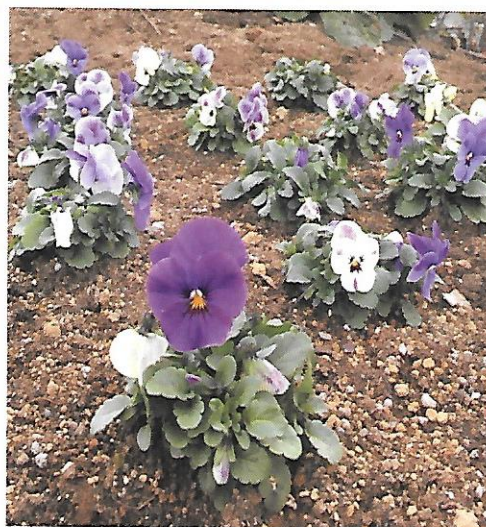


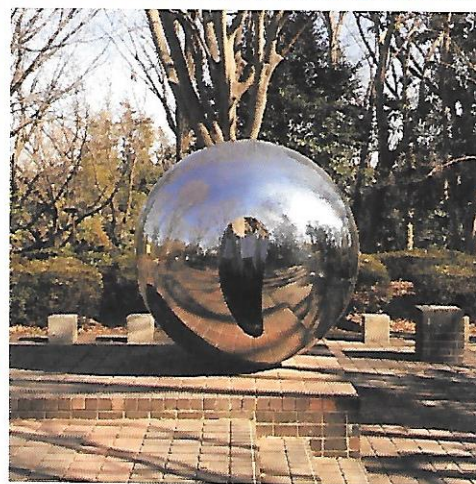
NPO法人 町田ハンディキャプ友の会

〒194-0013 東京都町田市原町田4-24-6
第55号 発行責任者 石井 章夫

Tel: 042-721-5721 Fax: 042-721-6605
発行日 2020年3月1日



春の足音が近づいてきました



芹が谷の春

今年も「安全で安心して利用できる移送サービス」を目指して

理事長 石井 章夫

今年もすでに2ヶ月が過ぎましたが、皆様にとって良い年になりますようお願い申し上げます。

昨年は、おかげさまで皆様のご協力を得て、順調に移送サービスを行うことができました。今年も引き続き「安全で安心して利用できる移送サービス」を目指してまいります。

現在、町田市では、みんなのトイレや障がい者用駐車区画、バリアフリー施設の情報を掲載した「バリアフリーマップ」を作成しています。作成にあたっては、私どもが調査等で協力しています。なお、掲載している施設等は600件を超えており、内容の最新化を図るため、毎年11月に現況調査を行っています。

町田ハンディキャプ友の会のホームページにも掲載していますので皆様もご覧になり、ご意見をいただければと思っております。

今年も町田ハンディキャプ友の会は、障がいを持った方の住みやすいまちづくりに向けて活動をすすめてまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いたします。

理事より

安全安心の運転のため

小竹 金次

今年も一時停止は「停止線に止まり 最徐行で進み 左右確認を行いましょう。」警察の調査によると、停止線でキチンと止まる車は5%で、後は見通しできるところまで前進し、一時停止するそうです。一時停止の停止線の位置は、「最も安全な場所」にあります。「そこで止まり、その位置から最徐行すること」が大切です。左右確認しても窓枠・バックミラーなどにより見えていない「死角」があります。この死角を安全に通過する「最徐行」により事故を防ぐことができます。見通しの悪い交差点の事故は、全体の3分の1になるそうです。この停止線に止まる。最徐行で進む。「が完全に励行されれば、交通事故の3分の1は少なくなるそうです。」

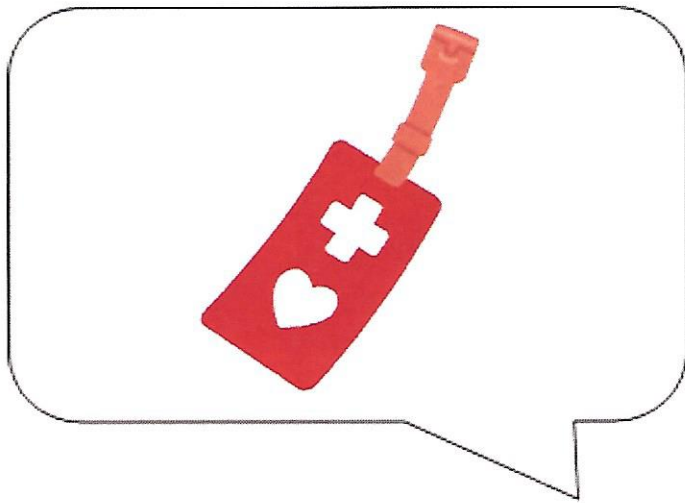


なによりも

利用者さんのために

飯塚 光夫

今年も気を引き締めて、安全、優しい運転で、利用者の皆さまを送迎していきたいと思っています。送迎先ですが、病院以外でも例えば、買い物、郵便局、各施設、墓参り等申し込みできます。利用者さんの要望をできる限り叶えられるように、また、ハンディキャブ友の会に巡り合っで喜んで頂けることが私の願いです。



●●● ヘルプマークって知っていますか？ ●●●

ヘルプマークは、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークです。

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方のほか、発達障害、精神障害や知的障害がある方などは、外見からは障害の有無がわからないことが多くあります。

疲れやすいため優先席に座っていたら白い目で見られたり、元気そうに見えるのに突然倒れてしまったり驚かされたりするようなことがありえます。このような方々は、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からないため、周囲の人の理解が得られずに苦しい思いをしたり、体調の急変時や災害時に、適切な対応を受けられるかどうかを不安に思ったりします。

そこで、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるような意思表示のかたちとして、ヘルプマークが導入されました。

また、似たようなものに区市町村が発行するヘルプカードがあります。ヘルプカードは、障がいのあることを気付けてもらうだけでなく、東日本大震災時に障がいのある人が自分の意思を伝えることが困難であったことを踏まえ、障がいのある人が災害時や日常生活の中で、困っている時に困っている内容を周囲の人に伝えることができるカードとして作成されました。

表面には、ヘルプマークが表記されており、裏面には、配慮してほしい、手助けしてほしい内容などの記入欄を設け、事前に記入しておくことで、必要な時に周囲の方に提示し、手助け等を求めることができます。

どちらも手助けが必要な人と手助けしていただける人をつなぐ大切なマークになります。

新人ドライバー紹介

初めまして

志村 靖彦

昨年11月の運転操作研修を経て、今年1月から運転協力員となりました。志村と申します。どうぞよろしくお願いします。

若い頃は自動車の運転には多少なりとも自信がありました。が、年をとるにつれて次第にその自信も薄らいで来ております。これまで車椅子を使っている方や、

お身体に障害のある方を車に寄せさせて運転した経験は余りありませんでした。しかし、ハンディキャブの運転協力員になった以上、安全運転に心がけ、ハンディキャブを安心してご利用できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いします。



ドライバーのつれづれ日記



鈴木 賢一

ハンディキャブの運転協力員になって13年になりました。

きっかけは、仕事の合間の副業で、ヘルパーとして介護タクシーの乗務もしていたのを辞めたばかりの時に、広報まちだで「市民外出支援サービスのあいちゃん号の運転手募集」の記事を見て、経験を生かせると思って応募しました。その時に事務所の高橋さんより「仕事のように稼げませんよ」と言われたのを覚えています。

その前からNPO活動として農家を手伝う援農の経験があり、有償ボランティアと心得ていましたので、なんの抵抗もなく、仕事に支障なく出来る土曜日だけの乗務を長年しています。数年前から仕事でしている介護保険の住宅改修が忙しくなり、また今ではNPO3つを含めて10種の社会的活動をしていて、多忙な日々を送っています。

私はギリギリ50代の現役で、もしかして未だに最若手の運転手なのかもしれず、これからも長く続けて利用者さんの楽しみにしている外出を支援し続けたいと思います。



★新車が納車されました★

1月末、車両が一台増え、2月から運行を開始しています。

新車は日産の軽自動車です、ドライブレコーダー・アシストブレーキ・カーナビなど最新のオプション装備をしており、軽自動車なので狭い道路も多い町田市内で、活躍してくることでしよう。

また、一台増えたことで、満車でお断りすることが少なることを期待しています。



*** シリーズ・ことば ***

2020年の新しい夜明けに
やさしい憲法のおはなしを。

Nabe.

憲法への基本的な考え方。

Fundamental principle of Constitution

日本のわたしたちは、
平和がいつまでも続くことを強く望み、
人と人との関係を結ぶべき気高い理想を
深く心にきざみます。

We, the Japanese people,
desire peace for all time and
are deeply conscious of the high ideals
controlling human relationship,

さらにわたしたちは、
世界の、平和を愛するすべての人々は
誰もが、公正で誠実だと信頼することにします。
そして、そうすることにより、
わたしたちの安全と命を
まもろうと決意しました。

We have deter mind to preserve
our security and existence ,
rusting in the justice and faith
of the peace—loving peoples of the world.



《編集後記》

過ぎた年 (2019.11.24) に、
長崎と広島を訪れたローマ教
皇フランシスコの、モナ・リ
ザの微笑そのままの慈愛に満
ちた優しい表情が忘れられな
い。
彼の地のミサでは、モナ・
リザの微笑から一転、深い憂
いを全身に背負っての長い長

い祈りの時間の果てに、やがて
こう結んだ——声を合わせて
心から叫ぼう、戦争はもういら
ない。兵器のごう音はもういら
ない。こんな苦しみはもういら
ない。“——と。その憂いのな
かから残してくれた、宝石箱の
中のポエムのようなこの一文字
一文字のひびきを永久に忘れま
いと思う。

そうして時代は、ともかくも新
しい夜明けを告げた。・・・見
あげる空に、
今年はどうな
色もようが広
がるのだろう。



(2020.2.広報子一同)

事務局だより

◎会費納入のお願い
今年度の会費未納の方は、お
振込み願います。

◎利用者の皆様へのお願い
最近、申し込みの増加ととも
にキャンセル・時間の変更等が
増えていきます。計画的なご利用
のご協力をお願いいたします。

ご寄付

碓 邦子 様
今村 吉宏 様
佐々木基之 様

紙面にてお礼申し上げます。
誠にありがとうございました。